

桂坂山の手倶楽部だより

(第12号)



平成20年5月1日発行
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会

役員会だより

1. 第4回役員会開催(2/16)

- (1) 新年互礼会の反省を行い、次年度に反映させる事にしました。
- (2) 高齢者のボランティアによる支援方法について検討しました。
- (3) 平成19年度の諸活動の反省と次年度の活動計画について検討しました。

2. 第2回合同会議開催(3/2)

- (1) 全体活動の報告をすると共に、各同好会活動の報告を受けました。
- (2) ボランティアによる高齢者の支援方法について意見交換をしました。
- (3) 平成19年度の諸活動と20年度の活動計画について意見聴取をしました。

3. 第5回役員会開催(3/22)

- (1) 事務局作成の総会議案書案の検討をしました。
- (2) 総会並びに親睦会の開催要領とその役割分担について検討しました。
- (3) 平成20年度行事予定について確認しました。

市・区老連だより

1. ダンスパ-ティに参加

社交ダンス同好会

内田 圭子

私達ダンス同好会メンバーは、平成17年10月発足以来山の手倶楽部会員である藤井先生のもと心暖まる熱心なご指導を受け、平成19年4月から外部より講師石川先生をお迎えして、充実した素敵なレッスンを続けています。

去る2月28日には、西京区老人クラブ連合会主催による第2回ダンスパ-ティ-が西京区文化会館に於いて開催され、私達の日頃の成果を発表するフォ-メ-ション出場をいたしました。

また、3月7日には京都市老人クラブ連合会主催のパ-ティ-に西京区代表として参加。今回女性は情熱的な深紅のブラウスを揃えて日常生活を忘れての楽しい一日を過ごしました。

他の地区の方々より「桂坂サンは上手やなあ」と嬉しいお声を頂き、お世辞かな?と思いつつも笑顔で帰途に着いたのでした。

緑映える好季節となりました。会員の皆様には健康で豊かな日々を送っておられることと思います。

四月から新年度に入り、山の手倶楽部の活動もますます活発になってまいりました。

今年度は、桂坂自治連合会が発足して二十周年に当たり、いろいろな企画がなされていきます。その中で山の手倶楽部も協賛させてもらえるものもあります。

先ず第一は作品展です。この催しは地域女性会社会福祉協議会と山の手倶楽部の共催で十一月一日(三日月)に、ふれあい会館第一研修室で行います。すばらしい作品を出展して頂けるものと期待しています。

次は、自治連合会二十周年の記念イベントです。これは、十一月十六日(日)にエミナス・ダイ

新年度会長の挨拶

アモンドホールにて取り行われます。その行事に山の手コーラス部の出演があります。

三つ目は、二十周年を記念して「桂坂ホットライン」の会を新たに作るという企画です。

この事は社会福祉協議会が中心となり、山の手倶楽部、地域女性会、民生委員会等と一緒に高年齢者の方でちよつと手助けしてほしいと希望される方に手を差し伸べるといふ、うるおいのある会です。中には他の人にはお世話になりたくないと言われる方もおられると思いますが、手助けを希望される方だけを対象として結成したいと思っております。

以上三点申し上げましたが、会員各位のご理解と協力を、よろしくお願い申し上げます。

会長 岡 頼男

終わりにりましたが、声援に来て下さった桂坂の皆様方に紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2. 囲碁・将棋大会開催

福利厚生委員

西澤 四郎

区老連主催の囲碁・将棋大会が、6月14日(土)午前9時30分よりふれあい会館で開催され、A～Dクラスの優勝者は、8月の京都市の大会に西京区の代表として出場して頂きます。参加希望者は、5月10日までに同好会責任者上久保潤次郎氏(333-0100)または福利厚生委員西澤四郎(333-1357)まで申し込んで下さい。

今年は、ふれあい会館での開催ですから、多数の参加を期待しています。

同好会だより

1. 俳句で脳の活性化をされませんか？

俳句同好会

丹羽 節子

私が俳句の会のお仲間に入れて戴き二年になります。特に素養があった訳でもなく、普段から語彙も多い方ではなかったのに、私に俳句なんか作れるのかなあと思っていたのですが、始めてみますと、非常に面白いものだと解って来ました。

ご高齢の方が多いのですが、皆様、感覚はとても若々しく！季節の捉え方も敏感！皆さんの句を聞かせ頂くだけでも「ヘエ-そんな言葉がある？」「そんな表現があったの？」と、日々勉強です。

俳句は、五・七・五文字に季語が入りますが、歳時記という本があり春、夏、秋、冬、新年と分かれています。歳時記には、季語と季語を使った句が載っています。月一回の例会に何句か作って行くのを、先生が直して下さい。一字一語を直されるだけでガラリと句が良くなります。俳句を始めましてから、景色の見方も変わって来ました。今迄気付かなかった事に気付く喜びも味わっています。例会が待ち遠しく吟行にも出掛けます。同じ景色を読んでも十人十色、捉え方が違います。そこが又面白いのです。

俳句に年齢は全く関係ないと思います。まだまだ稚拙な句しか出来ませんが、十年後はどんな句が作れる様になるか、とても、たのしみです。皆様も俳句を始めてみませんか。脳の活性化の為に

2. 未来の「名人と本因坊」現れる！

囲碁・将棋同好会

西澤 四郎

この3月1日、「桂坂小学校遊びの会」で子供達と囲碁・将棋を楽しみました。これが縁となって、若山兄弟(桂坂小学校4年生、2年生つばき自治会)が同好会の定例会に参加しています。兄の勝紀君の将棋の差し手は鋭く、指導に当たっている同好会の中西名人も、思わず待ったを言いたくなるそうです。弟の智紀君は、小学校低学年には難しい囲碁に挑戦していますが、「もう止めた」と言われはしないかと心配しながら、九路盤で勉強しています。

この調子で続ければ、桂坂から「名人と本因坊」が誕生するのも夢ではないでしょう。



中西名人を本気にさせる、この一手

3. 今年度の作品展の開催について

作品展担当

安楽 つねみ

木々は芽吹き、風は初夏の爽やかさを感じ、並木の躑躅の花に心癒される頃となりました。山の手倶楽部による趣味の作品展も年々力作の数を増して居ります。

今年度は、桂坂自治連合会発足20周年に当たりその記念行事に参加の為、山の手倶楽部と地域女性会の合同作品展を、11月2日、3日の二日間ふれあい会館第1研修室で実施する事になりました。

写真、書道、絵画、俳句同好会の作品の他、皆様よりたくさんの作品を出展して頂けます事を楽しみに致して居ります。

健やかに色々の趣味を広めて豊かな感性を養いながら楽しい友の輪を広めて行きたいと常々思っています。

その他のお知らせ

1. 「第17回総会・親睦会」開催

親睦会担当

岡村 英明

4月19日(土)11:30から、ふれあい会館1階第1研修室に於いて桂坂山の手倶楽部の第17回総会が99名の会員が出席して開催されました。

(司会岡村 英明、議長細谷 修三さん)

総会は物故者の黙祷に始まり、議案の報告・審議もスムーズに拍手で承認。終わりに米寿を迎えられた

第1倶楽部吉田 信江さん(かえで)
第2倶楽部青井 勇さん(あかしあ) 第3倶楽部柴田 操さん(ひいらぎ)
第4倶楽部喜多 幸男さん(にれのき)
の皆さんに岡会長からお祝金の贈呈があった後、新たに地域委員・同好会責任者になられた方の紹介をもって無事終了しました。



なお、親睦会までの幕間を利用して、安井桂坂消防分団長の火災防止についてのお話などがありました。

12:40から会場を2階大枝の間に移し、親睦会(司会中口 利秋さん)が開催されました。

松本 正二さんの乾杯の音頭に始まり、西京区老人ボランティア有志によるオカリナとベルの演奏、会員自身のカラオケなどを楽しんだ後、田中副会長の1本締めで16:00頃、来年の再会を約しながら、楽しい宴が終わりました。



2. 「桂坂ホットラインの会」企画中

副会長

田中 健一

高齢会員の皆さんに役に立つ活動を検討する中で、松尾学区の「助っ人の会」の情報を参考にボランティアによる助け合い活動をしてはどうかということになり、山の手倶楽部から社会福祉協議会に働きかけを致しました。

その結果、自治連合会の協力も得られることになり20周年記念事業の一環と位置づけ、社会福祉協議会が中心となって地域女性会、民生協議会、厚生保護女性会、老人福祉員、包括支援センター、山の手倶楽部等と一緒に取り組むことになりました。現在、関係諸団体で運営委員会を編成して具体的な内容を検討しています。名称は、「桂坂ホットラインの会」として会則等の具体的な内容の検討を始めている段階です。

詳しい内容については正式にスタートした段階で改めてお知らせ致します。

3. 「桂坂小学校遊びとおぜんざいの会」に参加(3/1)

小学校担当

松本 正二

恒例となっている「桂坂小学校遊びとおぜんざいの会」が開催され、当倶楽部から約20名の会員が参加しました。



雨天であったため予定していたグラウンド・ゴルフは出来ませんでしたが、体育館ではこま回し、けん玉、縄跳び等を、また教室では囲碁・将棋、百人一首、お手玉等を楽しみました。

その後、地域女性会の皆さんから和室でお茶会に招かれたり、ふれあいルームでおぜんざいを戴いたりして楽しい一時を過ごすことが出来ました。



久しぶりに童心に戻りました

4. 「桂坂野鳥遊園を育てる推進地域協議会」開催（4/24） 事務局長 八木 兵司

表題の会は年1回開催されており、自治連合会、民生児童委員会、地域女性会、更正保護女性会、山の手倶楽部、社会福祉協議会（事務局）で編成されています。

野鳥遊園の運営事業全般について意見交換をし、野鳥遊園が地元の人達により身近に受け入れてもらえるにはどうすれば良いか検討されました。昨年度の来場者は16,400名とかなり増加していますが、まだまだ当遊園の良さが十分に理解されている状況ではないので、特に地元の人たちに対するPR方法等について話し合われました。山の手倶楽部同好会員の作品展示についても、もっとPRして鑑賞してもらう必要があるとの指摘もありました。会員の皆様もせっかくの会員の展示ですので、時には野鳥遊園に足を運んで頂くようお願い致します（月・火曜日以外は開園しています）。

5. 山の手倶楽部の会員の状況 事務局長 八木 兵司

平成4年4月に発足した当倶楽部は設立17年目を迎えています。幾多の変遷を経ながらも発展を続け、現在会員数は過去最高となり各同好会活動も活発に進められています。

ここ10年間の会員の異動状況は年度により変動はありますが、少ない年で10名、多い年で30名程度の会員の出入りがあり、会員数合計は220名から240名の間で変動しています。

平成20年4月1日現在の会員の年齢構成は以下の通りで、年代層にかなりの幅がある状況です。

年齢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	合計	割合
男性	9名	22名	16名	32名	27名	106名	44%
女性	15	16	23	40	39	133	66
合計	24	38	39	72	66	239	100

6. 京都市補助金の申請について 事務局長 八木 兵司

現在、各单位倶楽部ごとに京都市より年間46,560円の補助金を受けており、これをプ-ルして山の手倶楽部の活動資金として活用しています。その申請概要について以下に簡単に解説致します。

手続は各单位倶楽部ごとに行います。

提出する書類は、「補助金交付申請書」「事業実績報告書」「会員名簿」の3種類です。

「申請書」には、補助金交付対象事業として「社会福祉事業」「教養講座開催事業」「健康増進事業」毎に年間計画を組み、補助対象外事業も組み込みます。そして、各事業毎の事業予算を計上し、その財源についても明細を出す必要があります。当倶楽部は単位倶楽部活動ではなく4倶楽部が合同で活動していますので、会計予算の数字を4分割して4倶楽部同一内容で計上しています。

「実績報告書」には、申請書に記入したものと同一項目の活動実績（活動内容毎の参加人数等）を記入します。会計報告も予算同様に会計報告の数字を4分割して4倶楽部同一内容で報告しています。

「会員名簿」には、年齢、住所、役職を記入し、単位倶楽部ごとに最低50名の会員が必要です。従って、年度によっては50名を確保出来ない単位倶楽部がある場合、他の倶楽部の会員の一部を融通し合う操作も行っています。いずれにせよ、年1回とは言え結構面倒な手続を必要とします。

平成20年度行事予定

6/14(土)	ふれあい会館	区囲碁・将棋	9/19(金)	京都会館	金婚式表彰
7/15(火)	洛西庁舎	区教養講座	10/7～8 火・水	伊勢浜島温泉	区一泊旅行
8/22(金)	ふれあい会館	市囲碁・将棋	11/2～3 日・月	ふれあい会館	合同作品展
9/5～7 金・日	みやこメッセ	市老作品展	11/8(土)	ふれあい会館	区坊竹大会
9/13(土)	ウエスティ	区文化芸能祭	11/16(日)	エミナ-ス	20周年式典

今年度の編集委員

第1倶楽部	田中 健一 (332-1565)	第2倶楽部	安楽つねみ (332-6768)
第2倶楽部	西澤 四郎 (333-1357)	第3倶楽部	八木 兵司 (332-5881)
第4倶楽部	岡村 英明 (332-1400)		

